

令和 6 年度 とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	千代田区神田和泉町 1
園名	千代田区立いずみこども園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

○生け花体験活動「お正月の花を飾ろう」

<テーマの設定理由>

- ・日本の文化や四季について知ってほしい。
- ・季節の木や花について知ったり、花を扱いながら、五感を働かせて、色・匂い・感触等を感じたりしてほしい。
- ・生け花を通して、考えたり、工夫したりすることを楽しんでほしい。
- ・友達や講師、教職員の生け花を鑑賞し、感じたことや考えたことを伝え合う機会にしてほしい。

2. 活動スケジュール

≪ 11月20日・12月18日 ≫

*生け花講師による事前指導

生け花の基本をおさらいする

≪ 12月19日・20日 ≫

*保育者が講師と打ち合わせをする

*花器に和紙で自由に飾りつけを楽しむ

≪ 12月23日 ≫

*講師からお正月の文化や、季節の花、それらのもつ意味について話をうかがう

*自由に花を生ける

*友達や講師、教職員の生けた花を観賞する

≪ 冬休み期間 ≫

*生け花を自宅に持ち帰り、家族や親戚と楽しむ

*花の鮮度を保てるよう、水切りしたり、水を入れ替えたりして、世話をする

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

*和の雰囲気を感じられる千代紙、和紙など

*正月の花（マツ、センリョウ、キク、ハボタン、マツカサなど）やフラワーピック

*普段から使い慣れている幼児の工作ハサミ

*講師からのスライド（日本文化の説明、季節の花の写真やイラストなど）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- 花器に和紙で自由に飾りつけを楽しむ
 - ・和紙を選んだり、和紙の組み合わせを考えたりする
- 講師の指導の下、生け花をする
 - ・講師からお正月の文化や、季節の花、それらのもつ意味について話をうかがう
 - ・自由に花を生ける
 - ・友達や講師、教職員の生けた花を観賞する
- 生け花を持ち帰り、家族と楽しんだり、鮮度を保てるよう世話をしたりする

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

本園は年長児が年間を通して生け花の活動を楽しんでいる。本活動は4回目の生け花であった。これまでの経験から、活動の流れや方法が分かり、安心して取り組んでいる。

お正月ならではの花のラインナップに「赤や金色が多いね」「お正月だからキラキラしてるんじゃない?」「赤と白はお祝いの色だもんね」などと、自分の思ったことを話したり、知識から予想して友達に伝えたりしながら、楽しんで生けていく。

困った時（マツの固い枝を切ってほしい、どうしたら良いか迷っているなど）には近くの大人（講師や園長、担任、フォローの職員など）に自分から助けを求めてくる。



花器を和紙で飾る



お正月をイメージし、自由に花を生ける



講師の事前指導
季節や花の話を
聞く

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

作品（花器・正月の花）を園内に展示して、園児や保護者、園職員が鑑賞したり、活動や作品について話したりできるようにした。

保育者間では、子どもたちの制作過程での発言から、一人一人の幼児が何に関心を持ち、どんなイメージをもっていたか共有したりした。直感でダイナミックに進めていく幼児、慎重に一つ一つ考えて取り組む幼児、友達の作品を見て真似したり、変えたりする幼児などの姿が見られた。幼児により、どこを探求するかが様々であると感じた。